

最高のロケーション

愛知県蟹江町は、日本の真ん中にある名古屋市から電車で約10分の位置にあり、ロケ地としては大都会に近く、最高のロケーションといえます。

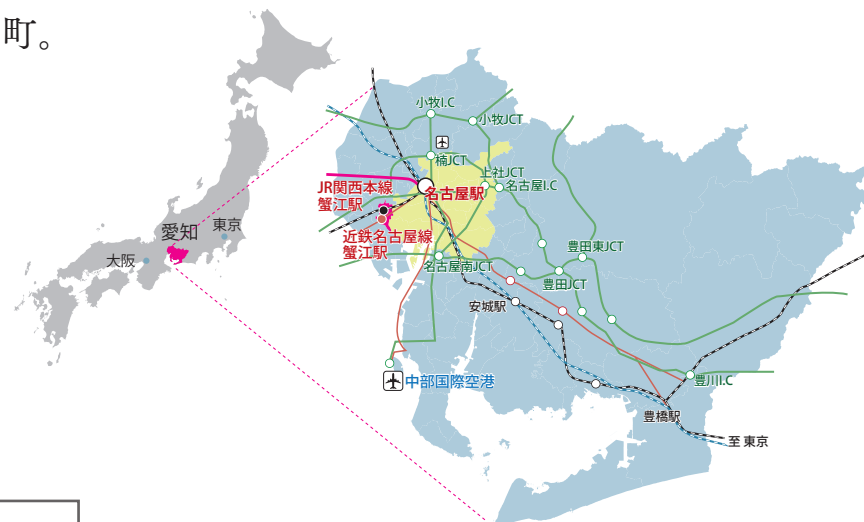
名古屋の西隣。移動に便利な蟹江町。

電車で

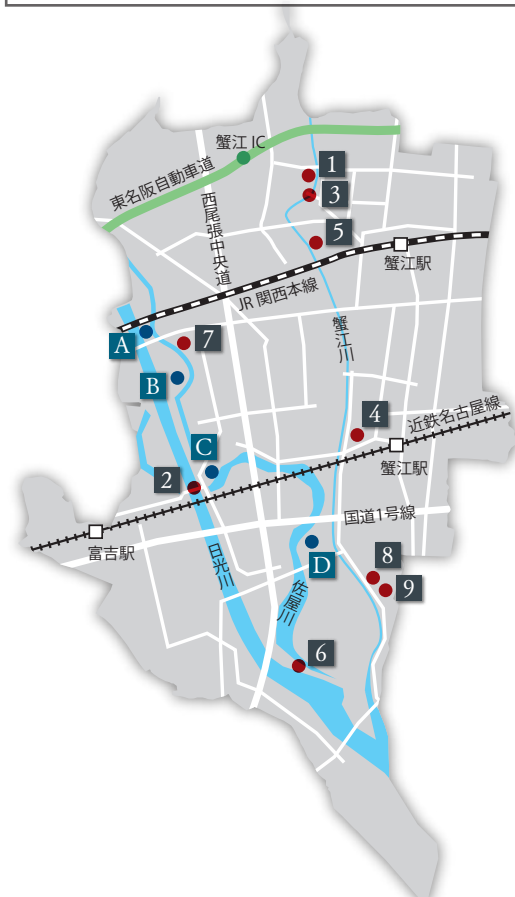
■近鉄名古屋線 近鉄名古屋駅 ← 約8分 → 近鉄蟹江駅
 ■JR関西本線 名古屋駅 ← 約10分 → 蟹江駅

車で

■伊勢湾岸自動車道 湾岸弥富IC ← 約20分 → 蟹江市街地
 ■東名阪自動車道 蟹江IC ← 約5分 → 蟹江市街地



ショートムービーロケ地と名所一覧



- 1 蟹江町観光交流センター祭人(さいと)
〒497-0031 愛知県海部郡蟹江町須成川西上371番地
 - 2 サンサンブリッジ
〒497-0044 愛知県海部郡蟹江町蟹江新田札中地
 - 3 御蔭橋(みよしばし)
〒497-0031 愛知県海部郡蟹江町須成川西下
 - 4 銭洗尾張弁財天 富吉神社
〒497-0040 愛知県海部郡蟹江町城4丁目132番地
 - 5 善敬寺
〒497-0031 愛知県海部郡蟹江町須成下之割南1225番地
 - 6 日光川堤防沿い
〒497-0044 愛知県海部郡蟹江町蟹江新田吉左エ門裏
 - 7 蟹江町旧福祉センター
〒497-0044 愛知県海部郡蟹江町蟹江新田佐屋川東46番地
 - 8 舟入地区
〒497-0048 愛知県海部郡蟹江町舟入
 - 9 旧舟入公民館
〒497-0048 愛知県海部郡蟹江町舟入4丁目24番地
- A 佐屋川西の森釣場
〒497-0044 愛知県海部郡蟹江町蟹江新田佐屋川西2番地1
- B 尾張温泉東海センター
〒497-0044 愛知県海部郡蟹江町蟹江新田佐屋川西97番地
- C 佐屋川創郷公園
〒497-0044 愛知県海部郡蟹江町蟹江新田札中地
- D 鹿島神社
〒497-0044 愛知県海部郡蟹江町蟹江新田鹿島185番地



蟹江町にはおいしいものもたくさんあります！



かにえフィルムコミッション事務局
 (蟹江町役場 ふるさと振興課内)

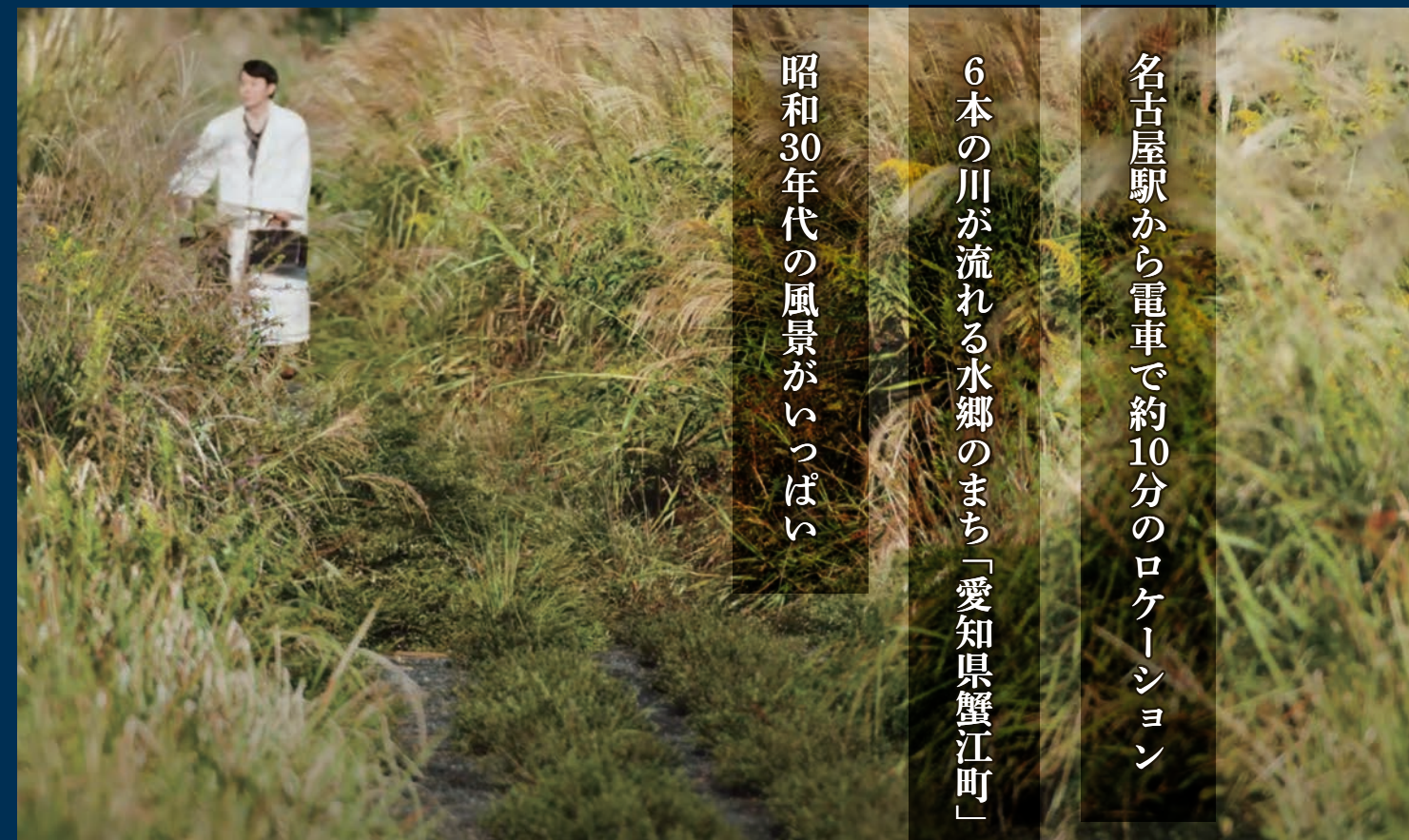
HPはこちら▶



かにえフィルムコミッションとは、蟹江町役場、蟹江町商工会、蟹江町観光協会が三者一体となって、蟹江町での映像制作を支援する団体です。

ロケ支援に関するお問い合わせはこちら。エキストラも随時募集中！

TEL : 0567-95-1111 (代表) FAX : 0567-95-9188
 Mobile : 080-4530-2103 Mail : info@kanie-film.com



名古屋駅から電車で約10分のロケーション
 6本の川が流れる水郷のまち「愛知県蟹江町」
 昭和30年代の風景がいっぱい

蟹江町では、シティプロモーションの一環として、映画監督・堤幸彦氏の協力を得て、蟹江町出身の探偵小説家・小酒井不木(こさかい ふぼく)のミステリー作品を原作としたショートムービー「死体蠟燭」「安死術」を制作しました。

YouTube にて 絶賛公開中！



【死体蠟燭】
 2020年3月公開



【安死術】
 2021年2月公開

2作品の字幕版とパンフレット(英語)はこちらよりご覧いただけます。
 Information about these short films in English can be found at this link:



KANIE
 FILM COMMISSION

ショートムービーロケ地めぐり

昭和30年代の風景が見どころ

蟹江町が制作した2本のショートムービーはいずれも町出身の小酒井不木の小説を映像化しました。

【小酒井不木について】

小酒井不木は蟹江町出身のミステリー作家で、大正から昭和初期の間に活躍した日本探偵小説界の草分けといえる人物です。38歳という若さで急逝したものの、彼が残した140作以上の作品はミステリー界において高い評価を得ており、江戸川乱歩や横溝正史にも大きな影響を与えたとされています。

死体蠟燭

したいろうそく



【あらすじ】

ある嵐の晩、和尚と小坊主の法信は寺の本堂から怪しい物音を聞く。暗闇のなか、蠟燭の灯りだけを頼りに見回りをする2人。すると、怯える法信に対して和尚の口から蠟燭に隠された衝撃の事実が告げられる。

1 ミステリー女子 会話シーン

蟹江町観光交流センター祭人(さいと)



2 蟹江町の風景①

サンサンブリッジ



3 蟹江町の風景②

御葭橋(みよしばし)



4 蟹江町の風景③

銭洗尾張弁財天 富吉神社



5 本ショートムービーの舞台

善敬寺



蟹江町は、6本の川が流れる水郷のまち。川や橋の風景が多数存在し、銭洗尾張弁財天 富吉神社、サンサンブリッジ、御葭橋も今回のロケ地となりました。ショートムービーの舞台となった善敬寺も蟹江川沿いにあります。

安死術

あんしじゅつ



【あらすじ】

昭和初期、大学病院の内科に勤務していた医師・寺田は、患者が安らかに死ぬための安死術(現代の安楽死)についてある考えを持っていた。蟹江町に帰郷し、小さな町医者として働きはじめた数年後、「名医」と評判になった彼を運命のいたずらが襲う....

6 舞台は昭和30年代の蟹江町

日光川堤防沿い

日光川の堤防沿の小路にて撮影。蟹江町で一番川幅があり、ゆったりと流れる日光川を眺められて、遠くには山脈も見られます。季節によってはすすきが生い茂り、昔ながらの風景が広がっています。



7 診療所でのシーン①

旧福祉センター

このシーンでは、蟹江町の公共施設である「旧福祉センター」を利用しました。診療所のセットで使用した家具や道具は、実際に蟹江町内で使用されていたものを使用しました。



8 味わいのある路地

舟入地区

蟹江町には多くの小路が点在しており、レトロな景色がいっぱいあります。この地区は漁港もあったことから特に珍しい景色に遭遇することも！



9 診療所でのシーン②

旧舟入公民館

診療所前のシーンは、旧舟入公民館前で撮影しました。このような建物が蟹江町には、まだまだいっぱい残っています。

